



〔管理者〕山形市 〔保全団体〕長谷堂城跡公園管理協力会

### ポイント

山形市の南西部にある城山(長谷堂城跡)の麓に湧く「御前清水」は、歴代城主が飲用したことから「殿様井戸」と呼ばれ、古くから大切に守られてきた。1600年(慶長5年)の北の関ヶ原「長谷堂合戦」の折、山形城を戦火から守り抜いたときにもこの水が給されたといわれている。

「御前清水」のある長谷堂城跡公園は、春は桜やシャガ、秋はヒガンバナなどが美しく咲き誇る花の名所であり、かつて最上軍と上杉軍が激戦を繰り広げた「長谷堂合戦」や山城の遺構も数多く残っており、四季を通じて県内外から観光客が訪れる。



長谷堂城跡入口(御前清水口)



長谷堂城跡公園のヒガンバナ

### アクセス

 (北緯38.214037°、東経140.271898°)

山形市街地から国道348号線を白鷹町方面に向かう。国道458号線との交差点から600m程進み、「西向」の看板から左折し突き当たりT字路を右折。100m先、左手に「長谷堂城跡公園」がある。「御前清水」は、園内の登山口「長谷堂城跡入口(御前清水口)」の標柱(右上写真)の奥にある。公園脇に数台分の駐車場がある。

